

三菱自動車が技術支援する『トライトン』が XCR スプリントカップ北海道 「ARK ラリー・カムイ」でクラス 4 位と 5 位で完走

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）が技術支援する「圭 rallyproject」及び「FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES」は、7 月 4 日～6 日に北海道ニセコ町で開催された XCR スプリントカップ北海道の第 3 戦「ARK ラリー・カムイ」にピックアップトラック『トライトン』で参戦し、「圭 rallyproject」の竹岡 圭選手が XC-2 クラスで 4 位、「FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES」の川畑 真人選手が同 5 位で完走しました。



「圭 rallyproject」竹岡 圭選手



「FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES」川畑 真人選手

XCR スプリントカップ北海道は北海道の山間部を舞台に、ピックアップトラックや SUV など幅広いクラスの車両で競われるクロスカントリーラリーです。アマチュアからプロまで幅広いドライバーが参加できることから、ここ数年で参加台数が増え、注目度の高いラリーとなっています。さらに第 3 戦となる「ARK ラリー・カムイ」は、日本自動車連盟（JAF）が主催する全日本ラリー選手権との併催となり、有力な選手や様々な車種が参戦し、レベルの高いラリーとなりました。

ラリー・カムイは、2 日間約 400km（うち SS は 11 ステージ、総距離は約 100km）で行われ、例年ハイスピードな展開になるニセコ町・蘭越町・倶知安町・真狩村の山々を走る SS に加え、今年は羊蹄山の東側に位置する京極町の林道ステージが設けられました。

1 日目は SS1-7 を実施。木々の間の、狭く曲がりくねったコースを高速で駆る SS が多くありましたが、『トライトン』の取り回しの良さが光り、川畑選手は常に上位に位置する好走を見せ、クラス 2 位で初日を終えました。竹岡選手はコースサイドにクルマ前方をヒットしてしまった影響で、SS7 でタイヤをスローパンクチャーさせましたが、グラベル・舗装路面が混在するようなコースでも、『トライトン』の高い悪路走破性を活かし、クラス 4 位と健闘しました。

2 日目は SS8-11 を実施。中でも SS8/10『SUNFLOWER (16.01km)』は、今回初めて使用し、大会最長 SS であることに加えて序盤はハイスピード、後半はツイステ

ィなテクニカルコースへと性格が変わる難しいコースです。前日クラス2位の川畑選手は前のドライバーに猛追しましたが、途中コースアウトを喫してしまい、大きなタイムロスとなり、クラス5位となりました。竹岡選手も新コースで多くのドライバーが苦戦する中、歴戦のラリー参戦で鍛え上げられた三菱自動車の4WDの走りを活かし、クラス4位のポジションを守り切り、ラリー・カムイを終えました。

また同じくXC-2クラスに出場していた『エクリプス クロスPHEV』（浅井 明幸 / 古川 和樹）は、クラス2位と奮闘しました。

圭 rallyproject 竹岡 圭 選手コメント



2日目は後半から車両トラブルがあり、2日間を通してパンクや車両トラブルなど問題が出てしまい、思ったようにタイムを延ばすことができず残念でしたが、無事に完走できたことで次に向けた課題を見出すことができたと思っています。人間もモモ//トンもしっかりと課題を解決し、次戦のラリー北海道に臨みたいと思います。

FLEX SHOW AIKAWA Racing 川畑 真人 選手コメント



ドライバーとしてクルマに合わせられるように試行錯誤しましたが、まだまだうまく順応できていない部分があり、今回はコースアウトを喫してしまいました。『トライトン』の仕上がりは昨年に比べ格段に良くなっていますが、実際にラリーで走ってみると、もっと良くしたいと思えるところがいろいろと見えてきています。チームと協力して課題をクリアして、ラリー北海道を迎えたいと思います。

FLEX SHOW AIKAWA Racing 哀川 翔 総監督コメント



川畑くんとしてもチームとしても悔しい思いはありますが、まずは完走できてよかったです。課題も見つかり、ラリー北海道に向けて川畑くんもチームもいい実戦を積めたと思います。応援ありがとうございました！

XCR スプリントカップ北海道 第3戦「ARK ラリー・カムイ」XC-2 クラス成績

1位	番場 彬 / 梅本 まどか	: 1 時間 28 分 50 秒
2位	浅井 明幸 / 古川 和樹	: 1 時間 34 分 42 秒
3位	羽根田 琴 / 星野 杏	: 1 時間 36 分 53 秒
4位	竹岡 圭 / 山田 政樹	: 1 時間 37 分 15 秒
5位	川畑 真人 / 中谷 篤	: 1 時間 40 分 03 秒
6位	三浦 昂 / 羽琉	: 1 時間 42 分 37 秒
7位	橘 礼太 / 渡邊 雄矢	: 1 時間 45 分 45 秒

■1 トンピックアップトラック『トライトン』

『トライトン』は、1978年に発売された『フォルテ』をルーツとする1トンピックアップトラックで、以来45年間で5世代にわたり約570万台を生産、世界約150カ国で販売してきた三菱自動車の世界戦略車です。現行『トライトン』は「Power for Adventure」という商品コンセプトのもとで開発を進め、内外装デザインからシャシー、ラダーフレーム、エンジンなどを一新し、2023年7月より生産工場のあるタイで販売を開始。2024年2月に日本に導入し、世界100カ国へ順次投入しています。マリンスポーツやウィンタースポーツ、キャンプといったアウトドアアクティビティでの可能性を広げ、お客様の冒険心にお応えする、三菱自動車らしさを象徴するモデルのひとつです。また、2024-2025日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。

以上